

市町村名	伊平屋村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	商工観光産業支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光客の受入体制整備の強化、誘客の促進を図ることを目的とし、商工観光事業者向けセミナーの開催、相談会の実施、異業種間の連携促進、旅行社による旅行プランの企画・プランニングの補助等を実施する。						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	969				
		(b)予算現額	969				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)前年度繰越額	—				
		A.計(b+d)	969	0			
	B.執行済額		969				
	うち交付金充当額		775				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0％				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	接遇セミナー開催年4回 民泊事業講演会年3回	目 標	（ 7回 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	4回				
	村薬膳レシピガイド発刊	目 標	（ 3,000部 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	3,000部				
達成状況説明	観光振興に資する分野の裾野を広げる計画であったものの、地域実情等の問題もあり、目標を下回った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	セミナー参加者	目 標	（ 0 ）	（ 25人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		70人			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	セミナーは当初の計画より少ない開催となったが、参加者は目標を上回り、目標を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 観光振興に資する分野とその他の分野の予算分け - 当初予定していた、地域ニーズの変化への対応	村内に於いての観光振興に資する分野の行政や関係団体との調整、コンセンサスの構築並びに地域住民との共通理解の模索
今後の取り組み方針		
観光振興に必要な団体の育成		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,058	969	775	194	4,089
伊平屋村 ↓ 伊平屋村商工会 補助金 総額5058千円 (交付対象:969千円) ↓ 接遇セミナー開催 民泊事業講演会 村薬膳レシピガイド発刊				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	使途については事業目的達成の観点から必要なもののかなどについて額の確定時に於いて支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	伊平屋村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-② 観光地イメージアップ推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	平成24～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	魅力的な観光地づくりの推進を目的とし、海浜、道路、公園など観光客が利用する公共施設等の美化、清掃や花木の植栽などを実施する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	15,650				
		(b) 予算現額	15,612				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 38				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	15,612	0			
	B. 執行済額		15,612				
	うち交付金充当額		12,489				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容は、全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。					
活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光アクセス道路の美化清掃	目 標	(29.5Km)	()	()	()	
		実 績	29.5Km				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	本事業の実施により、村内の各名勝、旧跡、観光施設等の維持が図られ、観光地としてのイメージアップも図られている。また、同事業による地元貢献や雇用の面からも効果がでている。						
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	観光アクセス道路の美化清掃	目 標	(0)	(29.5Km)	()	()	()
		実 績		29.5Km			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	本事業の実施により、村内の各名勝、旧跡、観光施設等の維持が図られ、観光地としてのイメージアップも図られている。また、同事業による地元貢献や雇用の面からも効果がでていることから妥当であるとする。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今年度は、主にアクセス道路や、観光施設等の清掃、草刈り等が主な業務であった。それについては、村民や観光客等からの反応も向上である。しかし、各施設における美化整備については、人手不足等の問題もあり遅れているようきようである。これからは、そのような施設の美的環境の整備にもリンクする形で植栽やそれらの維持等も行っていく必要がある。	同事業の継続により、島の景観等に対する村民の意識の向上が図られることや、産業の乏しい離島村の雇用等の創出についても大きく寄与すると思量される。
今後の取り組み方針		
同事業の継続により、島の景観等に対する村民の意識の向上が図られることや、産業の乏しい離島村の雇用等の創出についても大きく寄与すると思量されることから事業を継続し、島の進行発展につなげていきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
15,612	15,612	12,489	3,123	0

伊平屋村
15,612千円

賃金
6,714千円

清掃作業員賃金
6,714千円

清掃作業員にかかる作業賃金

使用料及び賃貸料
1,058千円

作業用重機等リース料
1,058千円

清掃作業にかかる油圧ショベル及び2tダンプ等の使用料

備品購入費
7,288千円

(株)佐久本工機
4,179千円

いすゞ自動車
2,814千円

(株)善林堂
295千円

清掃作業にかかる油圧ショベルの購入

清掃作業にかかる2tダンプトラックの購入

清掃作業にかかる草刈り機・チェンソー・ブロアーの購入

事務費
552千円

消耗品 その他

資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・本事業における清掃作業員の雇用等については、村内における失業者を対象として募集していることで、村経済の活性化の観点から大きく寄与している。 ・本事業で備品購入している作業用機械等については、各メーカー使用において配慮等がなされていることから5社以上のものから見積書を徴し契約にいたっていることで妥当であると判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③ 海岸漂着物処理対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-イ			
					生活環境基盤の整備			
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光地としてのイメージアップを図り、伊平屋島の定住を支える重要な産業である観光を振興を推進するため、海岸漂着物の処理を行う小型焼却炉を導入する。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,000					
		(b) 予算現額	13,671					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,329					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	13,671	0				
	B. 執行済額		13,671					
	うち交付金充当額		10,937					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容は、全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	小型焼却炉整備	目標	(1基)	()	()	()		
		実績	1基					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	本事業における同施設の導入事業については、環境・観光等の分野において、村のイメージ等対外的な部分や村内での処分等ができない漂着物等の処理が適切にできることから効果が大きいと思慮されることで妥当であると考ええる。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	小型焼却炉整備	目標	(0)	(1基)	()	()	()	
		実績		1基				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	本事業における同施設の導入事業については、環境・観光等の分野において、村のイメージ等対外的な部分や村内での処分等ができない漂着物等の処理が適切にできることから効果が大きいと思慮することから妥当であると考ええる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・海洋漂着物等が増加する中、同施設による処理が可能となったが、施設規模に応じた処理能力に限界が生じた場合の対応等が問題 ・処理コストが増大した場合の財政的な問題	・現段階での稼働状況から、漂着物の増大が懸念されるため、機器の処理能力の向上が将来的に浮上する。そのため、機器の追加等を考慮する必要がある。
今後の取り組み方針		
観光イメージアップ等リンクした形で、海浜のクリーンアップを推進し、効率的な機器の運用を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>13,671</td><td>13,671</td><td>10,937</td><td>2,734</td><td>0</td></tr> </table> 伊平屋村 13,671千円 → 備品購入費 13,671千円 → (株)トーマス技術研究所 13,671千円 小型焼却炉の購入					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	13,671	13,671	10,937	2,734	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
13,671	13,671	10,937	2,734	0										
資金 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本小型焼却炉は、ダイオキシン等の排出を押さる特殊な技術で、特許工法となっていることから、同業者との随意契約については妥当であると判断する。 ○費目、使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	誘客イベント推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本村の観光振興及び年間を通じた安定的な集客を図ることを目的とし、各種観光イベントを強化して実施する。また、いへやまつり及びいへやムーンライトマラソンを実施する団体への支援を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	27,610				
		(b)予算現額	17,194				
		(c)増減額(b-a)	▲10,416				
		(d)前年度繰越額	—				
		A.計(b+d)	17,194	0			
	B.執行済額		15,883				
	うち交付金充当額		12,706				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		92.4%				
予算の状況の説明		・本事業については、イベントの運営や、誘客人数等を増加する目標とリンクした形での効率的なイベント運営ができたことにより、執行予算の減額につながっていることから、予算執行については妥当であるとする。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	集客イベント開催実績 イベント開催件数	目 標	(8件)	()	()	()	
		実 績	14件				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・天候にも恵まれ、計画した事業が、各方面で事業計画及び執行予算の面でリンク等できたことにより効率のよい運営ができ当初計画よりもイベント件数が多くできた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（28年度）
	主要イベント来場者数	目 標	(0)	(2400人)	()	()	(3000人)
		実 績		3631人			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・入域観光客数の増大の為に受託業者・団体が創意工夫を行い各種イベントについても、効率よく運営できたことにより、島外からの観光客数の増加にも反映できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・イベント実施と村の自然・歴史・環境・伝統文化がマッチングしているか	・村内受託者のスキルアップ ・島外受託者と島内受託者との連携
今後の取り組み方針		
今回は村の実情・自然・環境・伝統文化に見合うイベントの模索並びに、既存イベント実施に際し、レベルアップを図った。今後も、継続して誘客出来るような仕組みを構築したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)			
伊平屋村 委託 伊平屋村漁業協同組合 沖釣り大会 494千円 特産品フェア 200千円 イルミネーション 500千円 委託 野南集落 一般社団法人 TAOFAGORY 委託 笹尾商工(株) キャンプ大会 683千円 リバイブウォーク 627千円 観光PR 480千円 観光誘客ライブ 200千円 委託 伊平屋村商工会 補助金 まつり実行委員会 第24回 いへやまつり 2700千円 補助金 マラソン実行委員会 第18回伊平屋 ムーンライトマラソン 10000千円			
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金
15,883	15,883	12,706	3,177
交付対象 外経費			
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時に於いて支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	観光情報発信強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
					Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光情報発信の強化により本村の観光振興を図ることを目的とし、観光ポスター、観光パンフレット等の多言語化や、観光施設でのHPの解説を行い、観光情報発信の強化により、本村の観光振興を図る						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,800				
		(b) 予算現額	4,800				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,800	0			
	B. 執行済額		3,827				
	うち交付金充当額		3,061				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		79.7%				
予算の状況の説明		・村内の自然・歴史・伝統文化・史跡等を網羅した観光パンフの製作、村指定管理の観光施設HP予約システムの構築の観点から鑑み適正であったと考える					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・パンフレットの多言語化 ・HPの作成	目 標	英語・韓国語・北京語・広東語パンフ作成（HPIによる予約システム構築）	()	()	()	()
		実 績	英語・韓国語・北京語・広東語パンフ作成HPIによる予約システム構築				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	4カ国語のパンフレット作成 観光施設の予約システム構築	目 標	(0)	(1,000部)	()	()	()
		実 績		1,000部			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	当初計画していた事業内容はすべて実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・文化財等書籍との整合性 ・利用者の視点に立ったHPのレイアウト	・パンフレットの凡例場所の検討
今後の取り組み方針		
・利用者の視点に立ったHPのレイアウトをさらに深化させ、適宜変更を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,827	3,827	3,061	766	
伊平屋村 多言語パンフレット 需用費 (有)フォレスト 2478千円 HP作成 委託費 (株)ネオ・プランニング 1349千円				
資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時に於いて支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		伊平屋村							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		1－⑦		多言語観光DVD制作事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－ア		
担当部課名		商工観光課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
							Ⅲ－1－(1)		
事業内容		多言語DVDを製作し、デジタルコンテンツによる、海外の旅行者に本村の魅力を視覚的に訴え、インバウンド刊行での観光客増加を目指し、海外に向けて、開かれた観光を目指す。							
実施方法		□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		予算の状況	(a) 当初予算額	4,111					
			(b) 予算現額	4,111					
			(c) 増減額(b-a)	0					
			(d) 前年度繰越額	－					
			A. 計(b+d)	4,111	0				
		B. 執行済額		3,915					
		うち交付金充当額		3,132					
		次年度繰越額		0					
		執行率（％）(B/A)		95.2%					
予算の状況の説明		・村内の自然・歴史・伝統文化・史跡等を網羅した観光DVDの製作から鑑み適正であったと考える							
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度		
		・多言語DVD作成	目 標	英語・北京語・広東語・韓国語 DVD作成	()	()	()		
			実 績	英語・北京語・広東語・韓国語DVD作成					
				目 標	()	()	()	()	
		実 績							
達成状況説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
		4カ国語のDVD作成	目 標	(0)	(4カ国語)	()	()	()	
			実 績		4カ国語				
		【参考指標】		目 標	()	()	()	()	()
				実 績					
進捗状況説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・ネイティブチェック、言語の意味のが日本語と違う部分があった。そのニュアンスの調整	・今回11分版の作成を行ったが、30分程度のものが作成できないかとツーリストから連絡等があったため改善の余地はある
今後の取り組み方針		
・ツーリスト会社、各種イベント等に積極的に活用		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,915	3,915	3,132	783	

伊平屋村

↓委託費

(株)シネマ沖縄

3915千円

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時に於いて支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑧	シャトルバス運行支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	商工観光課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
						Ⅲ-1-(1)		
事業内容	空港～運天港までのシャトルバスを運行し観光客の伊平屋村へのアクセスを向上させることによって、本村の観光振興を図る							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,699					
		(b)予算現額	3,699					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	3,699	0				
	B.執行済額		3,456					
	うち交付金充当額		2,764					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		93.4%					
予算の状況の説明		・観光客の来村アクセスの利便性向上から鑑み適正であったと考える						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	利用者実績	目 標	(1,000名)	()	()	()		
		実 績	1,150名					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	本村までのアクセスがないため同事業により利便性が向上した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	利用者数実績	目 標	(0)	(1,000名)	()	()	()	
		実 績		1,150名				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	期間限定ながら（6月～9月）3ヶ月にて1150名の利用者が活用した						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・シャトルバスの稼働率とフェリーの出港時間との調整	・本村にて実施する「伊平屋ムーンライトマラソン」等と連動して運営すればさらに効果があると考えられる。
今後の取り組み方針		
・今後は民間が独自で行うこととなったため、交通手段として有効に活用しながら、入域観光客数を伸ばす仕組みを構築する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,456	3,456	2,764	692	

伊平屋村

↓委託

(株)ジャンボツアーズ
3456千円

資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時に於いて支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑨ 水道安定供給対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(7)			
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度		産業間連携の強化			
			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-1-(1)			
事業内容	台風時やイベント時の許容範囲を超えた水需要に対応するため、水道施設の機能強化を行い、観光地としての受入れ体制を強化し、観光客の快適性、利便性等の向上を図る。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	29,484					
		(b)予算現額	28,003					
		(c)増減額(b-a)	▲1,481					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	28,003	0				
	B.執行済額		28,003					
	うち交付金充当額		22,402					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		本事業における事業内容に村内の水需要の増大等の要因に対し実施するものであり、当初計画の範囲内において施設の機能強化による投資効果は大きいことから予算執行は適正であると考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	水道水安定供給対策による・浄水機器機能強化工事	目標	(実施)	()	()	()		
		実績	実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	施設整備については、予定どおりの整備ができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	水道水安定供給対策による・浄水機器機能強化工事	目標	()	(実施)	()	()	()	
		実績		実施				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	施設整備については、予定どおりの整備ができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・本事業における諸問題点については、本事業の推進で、ほぼ解消できた。しかし、施設が簡易水道なため、高度が高い水の処理について、注意深く維持管理する必要がある。	・水道の効率的な運営が必要、本村においては、河川がないため、地下水等を浄化するシステムとなっていることから、きめ細かな維持管理をする必要がある。
今後の取り組み方針		
・水道の効率的な運営が必要、本村においては、河川がないため、地下水等を浄化するシステムとなっていることから、きめ細かな維持管理による施設運用をしていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
28,003	28,003	22,402	5,601	0

伊平屋村
28, 003千円

→

工事費
28, 003千円

→

(株)湘南工業
28, 003千円

[浄水場機器整備にかかる機器機能強化工事]

資金の 使途の 点検・ 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点から必要なもののなか等について確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	病虫害防除事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ	
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産物の安全・安心の確立	
						Ⅲ-1-(6)	
事業内容	作物の生産性の向上と農家所得の向上を目指し、さとうきびの収量低下の原因となっている病虫害の被害を防ぐため防除駆除を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,000				
		(b) 予算現額	1,600				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,400				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,600	0			
	B. 執行済額		1,600				
	うち交付金充当額		1,280				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算より減額となったが、当初見込んだ人件費等について、生産農家及び関係機関等の協力により人件費が安くついたことにより現予算での執行が可能となったことから、事業費については、ほとんどが資材費となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	防虫剤（フェロモン剤）散布：149ha	目 標	（ 149ha ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	149ha				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	当初、JA伊平屋支店での対策を予定していたが、サトウキビ生産部会や関係機関の協力により、設置経費（労力）についての経費が安価となりフェロモンチューブの設置等の病虫害防除がスムーズに進んだ。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	防虫剤（フェロモン剤）散布：149ha	目 標	（ 0 ）	（ 149ha ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		149ha			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	本事業は、平成24年度から平成27年度までの継続事業として計画しており、今回設置箇所について計画どおり実施できた。また、次年度以降も同作業を実施し根絶を図っていく。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当事業において病害虫防除を実施するイネヨトウについては、サトウキビを含む稲科の植物に被害を及ぼす害虫で、その被害は広範囲に及び甚大な被害である。平成23年度から深刻化しており、当防除によるフェロモンチューブの設置を実施した。この防除は、単年度だけでは、効果が薄いため、継続する必要がある。	継続防除にて、生産農家を中心に徹底した防除体制を構築する必要がある。
今後の取り組み方針		
・平成24年度の防除効果の検証を行い、継続した防除の実施。それによる効果の検証を行い農家の生産増大及び所得向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,600</td><td>1,600</td><td>1,280</td><td>320</td><td></td></tr></table> 伊平屋村 1,600千円 → 補助金 1,600千円 → 沖縄県農協伊平屋支店 1,600千円 【イネヨトウ防除にかかる経費の補助】					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,600	1,600	1,280	320	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,600	1,600	1,280	320											
資金使途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助金の執行については、農協をとおして、資材当購入費に充当している。また、防除に係る人件費については、農家及び関係団体による労力の提供で押さえることができたため、当初計上分より抑制できたことで、妥当であるとする。 ・費目、使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	黒糖関連商品の開発・販売支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ		
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化		
					Ⅲ-1-(6)		
事業内容	島の特産品である黒糖商品の需要奮起や販売拡大を目指し新たな特産品の開発と販売支援を行いブランドイメージの向上を目指す。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	400				
		(b) 予算現額	430				
		(c) 増減額 (b-a)	30				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	430	0			
	B. 執行済額		430				
	うち交付金充当額		344				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		今回の予算については、当初、5回分のイベント開催を見込み計上したが、イベント経費に係る公告経費等が増大したため、イベント回数が減少した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	島外（県内）イベント実施	目 標	（ 5 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	1				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	当初、島外（県内）での黒糖関連イベントを5回予定していたが、商品広告費や商品開発記者会見等が大きく予算のウェイトを占めたことから、計画の5回を達成できなかった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	島外（県内）イベント実施	目 標	（ 0 ）	（ 5 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		1			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	当事業は、平成24年度から平成26年度までの継続で実施しており、特産品である黒糖の商品開発等を継続的に行っている。現在4品目の商品開発がなされており発売が開始されている。そのような中、商品のPRを目的に各種イベントを計画し実施している状況で、今年度は、黒糖もちろみ酢等の商品の開発発表が実施された。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・商品開発における原料確保について、近年サトウキビ生産の不足から厳しい状況。 ・年度内需要分の原料確保についてJA等との協議が必要。 ・生産農家の事業参入等の促進。	・商品の消費拡大等にかかる戦略として、島外イベントの開催やPR活動を積極的に展開することで、商品や付加価値や原料の安定的な確保を推進する必要がある。
今後の取り組み方針		
・商品の消費拡大等にかかる戦略として、島外イベントの開催やPR活動を積極的に展開することで、商品の付加価値や原料の安定的な確保を推進する必要がある。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>430</td><td>430</td><td>344</td><td>86</td><td></td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	430	430	344	86	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
430	430	344	86											
伊平屋村 430千円 → 事務費 430千円 黒糖関連商品にかかるイベント経費														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・当事業は島の特産品である黒糖を原料とした、商品の開発や販売推進が目的であることから予算執行については妥当であると考ええる。 ・費目・使途についても、事業目的等から妥当であると考ええる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨	特産品等販路拡大推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-イ		
担当部課名	農林水産課	事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	流通・販売・加工対策の強化		
					Ⅲ-1-(6)		
事業内容	島で生産されるモズクや黒糖関連商品、魚類燻製商品やその他加工品の販路拡大を目指し、島外での販売促進やイベント等への出展を支援する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,686				
		(b) 予算現額	7,666				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 20				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	7,666	0			
	B. 執行済額		7,666				
	うち交付金充当額		6,133				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		本事業については、島の特産品を県外にPRする目的で、年3回の県外イベントへの参加費用について計上、予算執行については、計画に沿った形での支出となっており妥当であるとする。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	島外（県外）イベント出店参加	目 標	（ 3回 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	3回				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	年3回の県外イベント参加の計画について、計画どおり実施された。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	島外（県外）イベント出店参加	目 標	（ 0 ）	（ 3回 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		3回			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	本事業は平成24年度から平成26年度までの継続事業となっており、本年度は、長野県、埼玉県、千葉県との生協イベントへの参加を実施しそれなりの成果を上げた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・農業、水産業が近年不作となっていることで、中心となる特産品、もずく、黒糖の確保が厳しい状況。 ・今後、特産品の販路拡大が実現すれば、その需要への対応を改善していく必要がある。	・特産品の販路拡大が実現すれば、その需要の対応について、農家、漁家の意識の改善と営農計画等の見直しによるそれら品目の安定的な生産をしていくことにより活性化を図っていく。
今後の取り組み方針		
平成25年度、26年度について、本年度同様年3回の県外イベントへの特産品販売の出店参加を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
7,666	7,666	6,133	1,533	0

伊平屋村
7, 666千円

→

事務費
7, 666千円

特産品販路拡大、県外イベント出店参加にかかる経費
報償費、旅費、需用費、役務費

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-② 伝統文化継承支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(1)-ア			
担当部課名	伊平屋村教育委員会	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成		
事業内容	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、社会教育の一環として伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座を実施した。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,090					
		(b) 予算現額	1,340					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 750					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,340	0				
	B. 執行済額		1,340					
	うち交付金充当額		1,072					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	伝統文化学習講座の開催	目 標	(11講座 (11回))	()	()	()	()	
		実 績	16講座 (11回)					
達成状況説明	毎月第3水曜日を伝統文化の日と定め、民具作りや三味線教室、方言教室等、さまざまな伝統文化、芸能に親しむための講座を16講座開講した。また、講師は島内の老人から婦人、青年等、「てるしのネットワーク」と称した人材バンクを設立し対応を行った。受講対象者は村内小中学生とし、学校現場との協力、共有体制を構築した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)	
	伝統文化教室開講数	目 標	(0講座 (0回))	(11講座 (11回))	()	()	(14講座 (11回))	
		実 績		16講座 (11回)				
進捗状況説明	本事業を支援する母体として「てるしのネットワーク」を設立したことにより、成果指標としていた講座数が初年度より3講座増加し、目標値を上回った。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○講座内容によっては、必要備品(音源や再生機器)や消耗品を必要量確保する必要がある。 ○多様化する講座の種類や、ニーズの高い講座への講師の割り当てや人材確保が必要となっている。 ○事業効果の客観指標として、発表会やコンテストの開催等、技術向上や機運の醸成に向けた取り組みが必要とされている。	○各講座の実施計画について講師陣と密な連携を図る必要がある。 ○さらなる人材確保に向けて実施内容や取り組みの情報発信を強化する。 ○総体的な取り組みとなるよう、ゴールイメージの共有化と地域住民を含めたキャンペーンや、イベントの企画運営を行う。
今後の取り組み方針		
○各集落単位の伝統文化保存会の設置と村全体としての保存会を設立し、人材育成はもとより、人材の掘り起こしと伝統文化の保存・継承・発展に資する取り組みを強化する。 ○今後の取り組み方策として、島外での「伊平屋村民俗芸能まつり」を開催し、次代を担う青少年の健全な育成と島への愛着と誇りの醸成を推進する取り組みを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
1,340	1,340	1,072	268	0

伊平屋村
1,340千円

報償費
935千円

→

伝統文化教室
935千円

(伝統文化教室にかかる講師報償費(講師17名))

需用費
97千円

→

消耗品
97千円

(伝統文化教室開催に係る消耗品費)

使用料及び賃借
料
308千円

→

施設使用料
308千円

(伝統文化教室の開催に係る会場使用料)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 学校環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	伊平屋村教育委員会	事業実施（予定）年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	
						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学校環境の充実と児童・生徒の安全性を確保するため、夏場の直射日光の影響による水道水の残留塩素の希釈を改善する必要があり、高架タンクへの追塩装置を整備した。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,122				
		(b) 予算現額	2,520				
		(c) 増減額 (b-a)	1,398				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,520	0			
	B. 執行済額		2,520				
	うち交付金充当額		2,016				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・事業効果の早期発現の観点から、2カ年事業計画を前倒しし、当初予算から委託費を1,398千円増額補正した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	水質管理機器の設置：2基	目 標	（ 2基 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	3基				
達成状況説明	事業の前倒しにより、水質に問題のあった島内すべての学校において水質が改善された。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	目標値（25年度）	26年度	27年度
	水質管理機器の設置：2基	目 標	（ 0基 ）	（ 2基 ）	（ 3基 ）	（ ）	（ ）
		実 績		3基			
						（ ）	（ ）
進捗状況説明	事業の前倒しにより、水質に問題のあった島内すべての学校において水質が改善された。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は、夏場の直射日光の影響による水道水の残留塩素の希釈を改善するための、高架タンクへの水質改善装置の整備であることから、事業の推進については適切な整備がなされ、水質検査結果においても基準値を満たしていることから適正な事業執行が行われていると思慮される。	事業の実施については適正に機器の設置及び水質試験結果による改善効果が見受けられることから特に改善点は無いものと考えている。 今後は整備機器の適正管理と水質の毎日点検を行い、事業効果の発揚を継続する。
今後の取り組み方針		
学校現場と連携しながら、水質の毎日点検を行うとともに、高架タンクの洗浄や機器の適正管理を推進し、学校環境の維持、向上に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>2,520</td><td>2,520</td><td>2,016</td><td>504</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,520	2,520	2,016	504	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,520	2,520	2,016	504	0										
伊平屋村 2,520千円 → 工事請負費 2,520千円 → (有)沖縄小堀電気 2,520千円 (追塩装置の設置に係る工事請負費)														
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負事業者は先に行った水質改善実証試験により、本村の水質、立地、気象条件に適合した機器を選定したことから、対象機事業者が限定され、3者による見積りに基づく随意契約としたが、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-① 幼稚園預かり保育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ			
担当部課名	伊平屋村教育委員会	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実			
事業内容	伊平屋島の定住条件を整備するため、幼稚園預かり保育強化として嘱託保育士を1名配置した。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,700					
		(b) 予算現額	1,250					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 450					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,250	0				
	B. 執行済額		1,250					
	うち交付金充当額		999					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	嘱託保育士の配置：1名	目 標	（ 1名 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	1名					
達成状況説明	住民ニーズの高かった預かり保育の実施により、若年層の子育て支援に寄与できたほか、共働き世帯の就労支援にも効果があった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （28年度）	
	預かり保育利用児童数：5名	目 標	（ 0名 ）	（ 5名 ）	（ ）	（ ）	（ 10名 ）	
		実 績		5名				
						（ ）	（ ）	
	進捗状況説明	預かり保育の実施により、子育て世代の支援とともに、児童の健全な育成環境の整備と定住条件の整備が促進された。今後も預かり保育への住民ニーズは高くなると予想されることから、保育環境のさらなる向上に努めたい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業の実施により、預かり保育に対する住民意識が向上し、今後もニーズが高まることが予想されることから、児童の増加による安全対策や、用具の整備が必要になると思われる。	増加する児童数に対応するため、学校現場との密な連携や協力体制を構築する必要があることと、多様化する保護者ニーズに対する事業の検証と対応策について保護者との協議の場を増やしていく必要がある。
今後の取り組み方針		
対象児童の増加については、適正なスタッフの配置や管理体制について適時検証を行うとともに、保護者ニーズに対応するための遊具や玩具の適正な整備計画を行う。 また、保護者を含めた協議会を設置し、情報の共有化と相互理解を深める取り組みを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,250</td><td>1,250</td><td>999</td><td>251</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 伊平屋村 1,250千円 賃金 1,250千円 保育士賃金 1,250千円 嘱託保育士の配置に係る臨時職員賃金:1名					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	1,250	1,250	999	251	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
1,250	1,250	999	251	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4－② 妊婦健診渡航費助成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(11)－イ			
担当部課名	住民課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上			
	Ⅲ－4							
事業内容	妊婦健診の受診促進として、通院に要する船賃、宿泊費等を助成する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,000					
		(b)予算現額	923					
		(c)増減額(b-a)	▲ 2,077					
		(d)前年度繰越額	－					
		A. 計(b+d)	923	0				
	B. 執行済額		923					
	うち交付金充当額		738					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		予算配分については、少子高齢化が進む中で、比較的出生率の高い本村の状況を踏まえ措置していたが、実績値において、該当者が14名で34回、名護市での受診が多かったことでの渡航利用が落ち着いたことにより、減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	妊婦健診に係る渡航費補助	目 標	(16名)	()	()	()		
		実 績	14名					
達成状況説明	今年度の、妊婦渡航について、年度途中からの施行となったため、該当分が減となった。また、前年比で、16名を見込んでいたが、14名にとどまったことにより減となった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	妊婦平均受診回数	目 標	()	(6回/人)	()	()	(8回)	
		実 績		2.4回/人				
						()	()	
進捗状況説明	今年度の、妊婦渡航について、年度途中からの施行となったため、該当分が減となった。また、前年比で、16名を見込んでいたが、14名にとどまったことにより減となった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業の実施により、今まで実費で、島外の産婦人科を受診していた妊婦の皆さんの負担軽減が図られたことによる、若い生産世代への波及が見込まれることから、出産後の乳児及び育児健診等の助成についても思案する必要がある。	本事業の実施により、今まで実費で、島外の産婦人科を受診していた妊婦の皆さんの負担軽減が図られたことによる、若い生産世代への波及が見込まれることから、出産後の乳児及び育児健診等の助成についても思案する必要がある。
今後の取り組み方針		
今後は、本事業により、波及が見込める生産世代の安心して出産、育児等が行える施策の構築等を考えることと、本事業の継続的な実施を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,323</td><td>923</td><td>738</td><td>185</td><td>400</td></tr> </tbody> </table> 伊平屋村 923千円 負担金補助金及び助成金 923千円 妊婦健診 1323千円 交付対象外(400千) 妊婦健診渡航費にかかる助成金補助					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,323	923	738	185	400
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,323	923	738	185	400										
資金の流 れ、費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-④	介護ヘルパー養成講座事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(3)-ア 高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる環境づくり			
担当部課名	住民課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4			
事業内容	介護体制強化として介護保険ヘルパー資格取得のための養成講座を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,000					
		(b) 予算現額	914					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 86					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	914	0				
	B. 執行済額		914					
	うち交付金充当額		730					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	介護保険ヘルパー資格(2級)養成講座開催	目 標	(1講座)	()	()	()		
		実 績	1講座					
達成状況説明	同講座開催において村内から10名の参加があり、全員資格取得と事業計画の目標が達成された。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (28年度)	
	介護保険ヘルパー資格(2級)養成講座開催	目 標	(0)	(1講座 10名)	()	()	()	
		実 績		1講座 10名				
		目 標				()	()	
		実 績						
進捗状況説明	同講座開催において村内から10名の参加があり、全員資格取得と事業計画の目標が達成された。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業により10名の介護ヘルパー資格取得者が誕生した。しかし、今後の展開として、高齢化に対応できる体制の構築が必要。 資格取得による雇用の創出ができてきた。	本事業により10名の介護ヘルパー資格取得者が誕生した。しかし、今後の展開として、高齢化に対応できる体制の構築が必要。
今後の取り組み方針		
現在、資格取得者の雇用については、4名の雇用ができていますが、高齢化の進展により需要の増大が見込めることから、さらに有資格者の育成を推進する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
914	914	730	184	0

伊平屋村
914千円

→ 委託料
914千円

→ (株)ニチイ学館
914千円

(介護ヘルパー養成講座にかかる委託料)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑥ 地域自立支援推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(7)-ア		
担当部署名	総務課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	県民の社会参加活動の促進と協働の取組の推進	
						Ⅲ-9	
事業内容	行政と住民が協働して行う島づくりの体制を構築するため、住民主導型のワークショップの開催や、課題抽出・解決策の検討、行動計画の策定を支援した。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,000				
		(b) 予算現額	2,837				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 5,163				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,837	0			
	B. 執行済額		2,837				
	うち交付金充当額		2,269				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・地域住民を対象としたワークショップの実施については民間コンサルタント等の中間支援事業者による委託を行わず、直接実施したため、当初予算額から5,162千円減額した。なお、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ワークショップの実施回数 （先進地調査2回）	目 標	（ 5回 （2回） ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	5回 （2回）				
	協働の島づくりを推進する行動計画の策定	目 標	（ 行動計画策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	行動計画策定				
達成状況説明	時代の変遷とともに希薄化が懸念される地域住民による「自助・共助・公助」の役割について地域住民を対象としたワークショップを行った。 地域の代表者を対象としたワークショップを2回、分野別として自然資源、伝統文化の保全をテーマとしたもののうち、とかく農業・農村の多機能性の維持、活用について農業事業者を対象としたワークショップを1回、商工事業者を対象としたワークショップを1回、男女共同参画等、集落の維持、向上をテーマとして地域住民を対象としたワークショップを1回、計5回のワークショップを実施した。また、ファシリテーターとして臨時職員を配置し、ワークショップの企画運営を行ったほか、専門家を招聘して課題抽出や分析、ヒアリング等を行い、行動計画に示す必須事項等の設定とともに、先進地調査に基づく計画策定と取りまとめを行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	目標値 （26年度）	27年度
	ワークショップの実施回数 （先進地調査2回）	目 標	（ 0回 （0回） ）	（ 5回 （2回） ）	（ ）	（ 行動評価 ）	（ ）
		実 績		5回 （2回）			
	協働の島づくりを推進する行動計画の策定	目 標		（ 行動計画 策定 ）	（ ）	（ 行動評価 ）	（ ）
		実 績		行動計画策定			
	進捗状況説明	・ワークショップの開催により、各集落の課題が抽出され、課題解決に向けた住民相互の連携と意識向上に寄与できた。 ・各集落の代表者（区長）を中心として、集落再生計画の基盤と、自ら考え（自助）相互協力（共助）しながら、島民一丸（協働）となった、島が目指すべき将来像を共有することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業が目指す住民主体による協働の島づくりの構築について、ワークショップや、ヒアリング、先進地調査を行った結果、以下の潜在的課題が抽出された。 ①少子高齢化による中間世代の減少に伴う地域リーダーの不在 ②年功序列型社会システム ③共働き世帯の増加による社会参加活動の停滞 ④核家族化の進展による見守り、子育て世代との関わりの減少 ⑤農業の機械化による「ユイマール」の淘汰 ⑥伝統文化、伝統祭祀の簡素化	本事業の取組によって明らかになった課題の解決策として以下の対策を講じることとする。 ①世代別、団体別(子ども・青年・婦人・壮年・老人会等)によるワークショップの開催や、研修、講演会等の実施と地域リーダーの育成 ②世代間交流を推進するための集落行事の再興 ③男女共同参画を推進するための居場所づくりや役割分担の設定 ④集落単位による自治機能の強化 ⑤コミュニティビジネス等目標とテーマを明確化した協働作業、協働事業の実施 ⑥集落総動員による伝統文化、伝統祭祀の復興
今後の取り組み方針		
今後の事業展開として、各集落のが地域の課題を自己のものと捉え、主体的に課題解決と行動評価を行えるような体制づくりを支援する。 具体的には各集落が主導的に行う「集落再生計画」の策定を専門家や行政が支援するとともに、取組への企画運営について助言を行う。 また、関連する他施策との相乗効果を図るため、総体的な協議の場を設置し、情報共有を進めるとともに各種研修やワークショップ、講演会等の開催を支援する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,837</td><td>2,837</td><td>2,269</td><td>568</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	2,837	2,837	2,269	568	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
2,837	2,837	2,269	568	0										
伊平屋村 2,837千円 賃金 1,672千円 コーディネーター賃金 1,672千円 (ワークショップ企画運営に係るコーディネーター賃金) 旅費 1,165千円 先進地調査旅費 1,121千円 (先進地調査に係る旅費) 外部アドバイザー費用弁償 44千円 (外部アドバイザー招聘に係る費用弁償)														
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-⑧	自動車航送コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア			
	担当部課名		総務課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	交通・生活コストの低減		
				沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-9			
事業内容								
島と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、特に移動の大きな支障及び住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減するため、その一部を助成する。								
実施方法								
☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）								
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,333					
		(b) 予算現額	4,235					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 9,098					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	4,235	0				
	B. 執行済額		4,235					
	うち交付金充当額		3,388					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・自動車航送コスト負担補助金については、実施期間が当初予定の7ヶ月から3ヶ月へと短縮されたことから、当初予算額から9,097千円減額した。なお、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	自動車航送運賃の低減支援	目 標	（ 支援実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	支援実施					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	住民への生活コストの負担軽減策として、自動車航送運賃への補助を行ったことにより住民の生活コストの低減に寄与できた。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （33年度）	
	自動車航送運賃の低減 現状運賃：18,750円→低減後運賃：6,843円	目 標	（ ）	（ 支援実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		支援実施				
		目 標			（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	本事業の実施により、住民の生活コストの低減がなされ、通院や冠婚葬祭、その他島外での諸行事への参加等、生活圏の維持、拡大がなされ、離島苦の解消に寄与できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業の推進により、住民の生活コストの低減がなされ、離島苦の解消と定住条件の整備に寄与できた。	離島であるがゆえの生活コストの負担は長年離島振興の妨げとなっていたことから、本事業の実施により、定住条件の整備がなされ、生活圏の維持、拡大が確保できる。
今後の取り組み方針		
本事業を推進することにより、引き続き離島苦の解消と定住条件の整備を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,596</td><td>4,235</td><td>3,388</td><td>847</td><td>3,361</td></tr> </table> 伊平屋村 4,235千円 補助金 4,235千円 船舶運航管理者 7,596千円 住民負担分(交付対象外経費)3,361千円 住民への自動車航送運賃低減相当額に係る補助金					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,596	4,235	3,388	847	3,361
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,596	4,235	3,388	847	3,361										
資金の流 れ、費目・ 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊平屋村							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5	伊平屋島災害に強い村づくり推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ－10－(2)		
事業内容	地域住民はもとより訪れる観光客等に安心・安全な地域環境を提供するため「災害に強い村づくり」の構築に向けた、防災マップ、避難マニュアル、非常食、備蓄倉庫等の整備を行う							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,000					
		(b)予算現額	8,769					
		(c)増減額(b-a)	2,769					
		(d)前年度繰越額	－					
		A.計(b+d)	8,769	0				
	B.執行済額		8,769					
	うち交付金充当額		7,015					
	次年度繰越額		0					
	執行率(％)(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	防災マップ・避難マニュアルの策定	目標	(1,000部)	()	()	()		
		実績	3,000部					
	非常食の常備	目標	(全世帯1食)	()	()	()		
		実績	全世帯3食					
達成状況説明	防災マップについては、各世帯に配布することができたとともに、各観光施設・ターミナルなど配置することができ、観光で来村した人々にも伊平屋村の防災計画を知らせることができた。また、非常食の常備も当初計画では、全世帯1食分を予定していたが、今年度、8月～10月の大型台風の襲来により、生活ライフライン及び村の唯一の輸送手段である、フェリーの相次ぐ欠航による生活物資の不足等災害時の課題等が出てきていることから、当初計画を大幅に上回る全世帯3食分を常備することとした。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	防災マップ・避難マニュアルの策定	目標	(1,000部)	(1,000部)	()	()	()	
		実績		3,000部				
	非常食の常備	目標	(全世帯1食分)	(全世帯1食分)	()	()	()	
		実績		全世帯3食分				
	進捗状況説明	防災マップについては、各世帯に配布することができたとともに、各観光施設・ターミナルなど配置することができ、観光で来村した人々にも伊平屋村の防災計画を知らせることができた。また、非常食の常備も当初計画では、全世帯1食分を予定していたが、今年度、8月～10月の大型台風の襲来により、生活ライフライン及び村の唯一の輸送手段である、フェリーの相次ぐ欠航による生活物資の不足等災害時の課題等が出てきていることから、当初計画を大幅に上回る全世帯3食分を常備することとした。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・防災マップは防災意識の向上や定着化を図るとともに、状況変化に対応しなければならぬ。 ・非常食については、賞味期限や小動物による被害が考えられる	・防災マップは、定期的に村民とともに検討し、作成し直す必要がある。 ・非常食は定期的に管理し、入れ替える必要がある。賞味期限間近の非常食については、防災訓練などで活用することも考えられる。
今後の取り組み方針		
備蓄倉庫の設置		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		8,769	8,769	7,015	1,754	

伊平屋村
8,769千円

委託料
2,940千円

消耗品購入費
1,174千円

備品購入費
4,255千円

印刷製本
400千円

上城技術
2,940千円

善林堂
1,174千円

善林堂
4,255千円

善林堂
400千円

防災マップ作成委託業務

非常食やおむつなどの
消耗品の購入

テントや発電機等の
備品購入

防災マップ製本

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点から必要なもののなか等について確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

防災マップ作成委託業務

非常食やおむつなどの消耗品の購入

テントや発電機等の備品購入

防災マップ製本